

サテライト会場「space」 展覧会告知

十和田市現代美術館 サテライト会場「space」
2023 年度 展覧会のご案内

目 [mé] 《space》 撮影：小山田邦哉

十和田市現代美術館では昨年2022年度より、アーティスト目[mé]による空き家を展示室へと改装した作品「space」を、美術館のサテライト会場として運営しています。ホワイトキューブの展示室が突如まちなかの建物の2階部分に出現したかのような「space」を拠点に、若手アーティストによる実験的な表現を紹介しています。

2023年度は、前半にドキュメンタリーアクターである筒 | tsu-tsu の個展 [会期：7月1日(土) - 9月3日(日)]、後半は写真家であり舞台作家でもある三野新の個展 [会期：9月16日(土) - 12月17日(日)] を開催します。

筒は、2ヶ月の会期中十和田に滞在し、人と出会い・取材し・演じる一連のプロセスを公開します。その蓄積から展開するパフォーマンス作品を会期終盤に発表します。演劇と写真を学び、領域横断的な活動で知られる三野新は、青森でのリサーチから新たに戯曲を書き起こし新作を発表する予定です。

spaceでの本展が、筒と三野にとって美術館での初の展示となります。

※ 各展示の詳細は、後日ご案内をお送りいたします。

前半：筒 | tsu-tsu 展 会期：2023 年 7 月 1 日 (土) - 9 月 3 日 (日)

後半：三野新展 会期：2023 年 9 月 16 日 (土) - 12 月 17 日 (日)

お問い合わせ

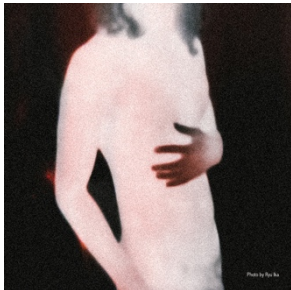
十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

筒 | tsu-tsu 展 会期：2023 年 7 月 1 日（土）－ 9 月 3 日（日）

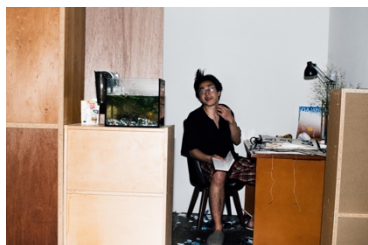
展示の詳細は [2023 年 6 月頃案内予定](#)

筒 | tsu-tsu

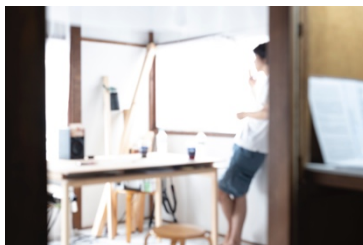


撮影：Ryu Ika

ドキュメンタリーアクター。幼少時より修する日本舞踊から得た「筒（つつ）」という身体感覚を手がかりに、演技と共同体にまつわるプロジェクトを展開する。複雑な他者をそのまま引き受ける手段として演技を捉え、人間の可変性と出合い続ける。異なる価値観を持つ者同士がいかに集うのかを主題に、2018 年に東京神楽坂で住める文化施設「F/Actory」を立ち上げ、2022 年から山梨県河口湖にてアーティスト・ラン・レジデンス「6okken」を設立し、運営する。クマ財団クリエイター奨学金 5 期生。第 28 回学生 CG コンテストアート部門最優秀賞を受賞。近年の活動に、「全体の奉仕者」（ANB Tokyo 他、2022）、「Backflow to the junction」（ニューヨーク市、2019-現在）、ドリス・ウーリッヒ「Habitat / Halle E」（タンツクォーター・ウィーン、オーストリア、2019）への出演、欧州・中東・北米 10 か国の自治的なコミュニティのリサーチの実施（2019-2020）など。Instagram：@tsu_tu



《全体の奉仕者》2022 年 撮影：Ryu Ika



《幽閉されている》2022 年 撮影：板倉勇人



《隣人になる》2021 年 撮影：皆川貴海

三野新展 会期：2023 年 9 月 16 日（土）－ 12 月 17 日（日）

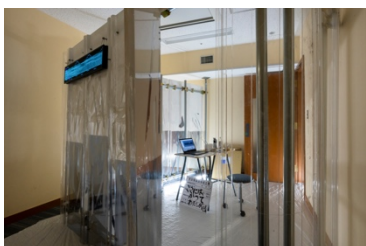
展示の詳細は [2023 年 7 月頃案内予定](#)

三野 新（みの・あらた）



撮影：細倉真弓

写真家、舞台作家。1987 年福岡県生まれ。周縁化された場所やものに残る記憶や風景を繋ぎ、「ここ」と「あそこ」の中間項を見つけ前景化させることをテーマに研究と実践を行う。主に自身で撮影した写真・映像をもとにフィクションを作り、それを自己と他者の身体、様々なメディアを通して発表するなど、領域横断的に活動している。2011 年早稲田大学文学部演劇映像コース卒業、2017 年東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻博士後期課程修了。博士（芸術）。2022 年から 2023 年まで Asian Cultural Council の助成を受け、ニューヨークに滞在。現在は東京と神奈川を拠点に活動。近年の主な展覧会・公演に「SEAsaw: 木曽川、宇宙を航海する」（mh PROJECT ノコギリニ、愛知、2023）、「YAU TEN」（YAU STUDIO、東京、2022）、「クバヘ／クバから」（ANB Tokyo、2021）、「うまく落ちる練習」（京都芸術センター、2019）など。www.aratamino.com

《ON/OFF のあいだにある渚のようなもの》
2022 年 撮影：TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH『クバヘ／クバから』上演化プロジェクト
（演出：楊いくみ、出演：石川朝日、赤松あゆ、MARU OHREI）2022 年写真集『クバヘ／クバから』
（いぬのせな座叢書 4、装幀・本文レイアウト：山本浩貴＋h）2021 年

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【space 概要】

開館時間：10：00 – 17：00 / 休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）※十和田市現代美術館の休館日に準じます。
住所：青森県十和田市西三番町 18-20 / 観覧料：無料 / 主催：十和田市現代美術館

《space》制作：目 [mé]



2013 年活動を始める。アーティスト 荒神明香、ディレクター 南川憲二、インストレーター 増井宏文を中心とする現代アートチーム。個々の技術や適性を活かすチーム・クリエイションのもと、特定の手法やジャンルにこだわらず展示空間や観客を含めた状況/導線を重視し、果てしなく不確かな現実世界を私たちの実感に引き寄せようとする作品を展開している。近年の活動に「SKY GALLERY EXHIBITION SERIES vol.5『目 [mé]』」（SKY GALLERY、東京、2023）、さいたま国際芸術祭 2023 ディレクターなど。十和田市現代美術館で 2020 年 7 月から 2022 年 5 月まで開催した Arts Towada 十周年記念「インター + プレイ」展で、まちなかの建物を展示室に改装した作品《space》を制作。

十和田市現代美術館

2008 年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示しています。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができます。

所在地：青森県十和田市西二番町 10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138 web：www.towadaartcenter.com



【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

E-mail：press@towadaartcenter.com / FAX：0176-20-1138

TEL：0176-20-1127 / 住所：034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行



媒体名

媒体ジャンル 新聞／雑誌／美術誌／テレビ／WEB／その他（ ）

御社名

御担当者名

所在地 〒

電話

メールアドレス

【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com